TOTO

取扱説明書 保証書付

フェアリーシリーズ
座ってラクラクプラン
洗面化粧台

定期点検・修理情報掲載

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付け引渡日を保証書にご記入のうえ、お客様に必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

■このたびは、TOTO製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■この説明書は保証書付ですので、大切に保存しておいてください。

■水栓金具に関する内容は、専用の説明書に載せていますので、この説明書と併せてよくお読みください。

はじめに
●安全上の注意（安全のため必ずお読みください）…… 2～5
●使用上の注意 …… 6～7
●各部のなまえ …… 8～9
●ご使用前に（必ずご確認ください）……10
●ホルムアルデヒドについて ……10

つかいかた
●つかいかた
シャンプー水栓の機能 ……11
排水口の開閉のしかた ……11
扉の開閉 ……11

お手入れ
●お手入れのしかた
日頃のお手入れ ……12
目皿とヘアキャッチャーの掃除 ……13
排水トラップの掃除 ……13
●定期的な点検のおすすめ
水栓のがたつき ……14
配管まわりの水漏れ ……14
扉などのがたつき ……14
排水の詰まり ……14
扉の調整方法 ……15
ニースペース板の着脱方法 ……16
引出し前板の調整方法 ……17
●収納部の取り外しかた ……18～20

こんなときは
●凍結予防のしかた ……21
●こんなときは
キャビネット内に水が漏れている場合 ……22
修理を依頼される前に ……22
故障かな？と思ったら ……22
●アフターサービス ……23
●仕様一覧 ……24
●保証書

安全上の注意

安全のため必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- この説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、つぎのような表示をしています。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に、必ず保存してください。
- 組み込まれる機器・器具などについては、それぞれの取扱説明書および本体に表示されている事項をお守りください。

表　　示	意　　味
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 ●死亡または重傷を負う可能性が想定される内容 を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 ●人が傷害を負う可能性が想定される内容 ●物的損害の発生が想定される内容 を示しています。

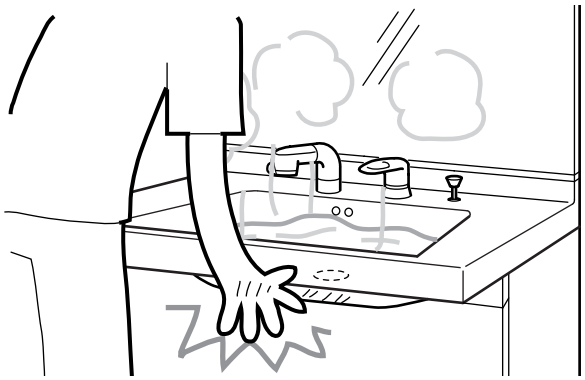
⚠ 注意	〈漏水の早期発見〉 定期的に、配管の回り（キャビネット内・点検口内）を見て水漏れがないか確認してください。部品の劣化・摩耗などによる漏水が発見できず、家財などをぬらすおそれがあります。
	〈落下の未然防止〉 定期的に、取っ手や丁番のねじを見てゆるみがないか確認してください。各部のねじがゆるんだまま使用されますと、扉や取っ手の脱落につながるおそれがあります。

⃠	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

⚠注 意

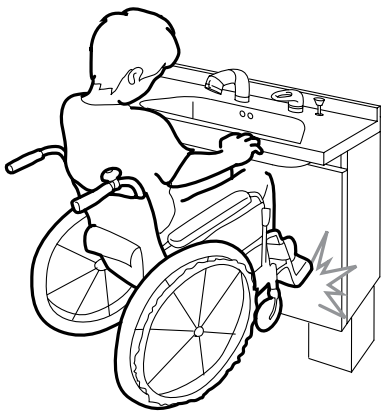
熱湯を使用中の洗面ボウル下面に触らないでください

洗面器のボウル下面が熱くなっていますのでやけどのおそれがあります。



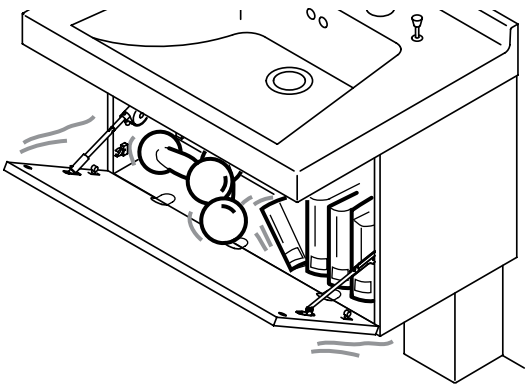
カバーや側板に物をぶつけないでください

カバーや側板が破損し、漏水やけがの原因となります。



棚には大量の書物など重い物は乗せないでください

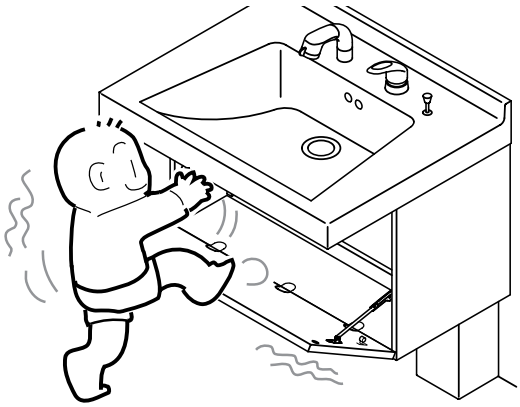
棚が外れてけがの原因となります。



⚠注 意

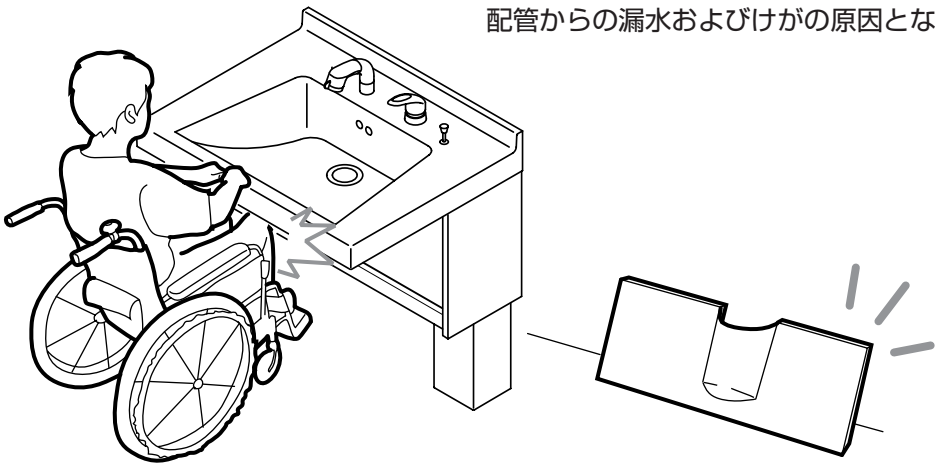
カウンターや扉にぶら下がったり乗ったりしないでください

扉が外れて、けがの原因となります。



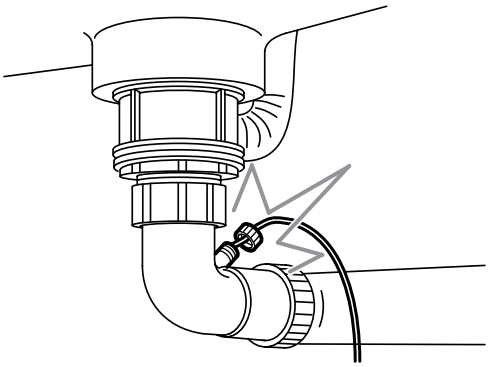
ニースペース板や配管カバーを外した状態で使用しないでください

配管からの漏水およびけがの原因となります。



排水ユニットを分解しないでください

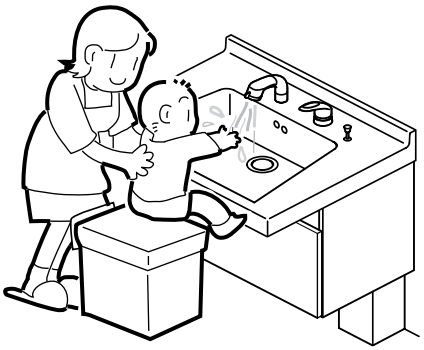
漏水や故障の原因となります。



⚠注 意

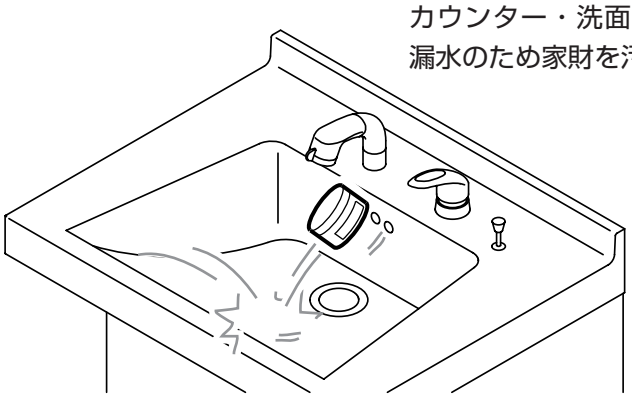
高齢の方や小さなお子さまが使用する時は、付き添ってください

転落、転倒、けがの原因となります。



カウンターに硬い物を落とさないでください

カウンター・洗面ボウルが破損してけがをしたり、漏水のため家財を汚す原因となります。



凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行ってください（寒冷地型）

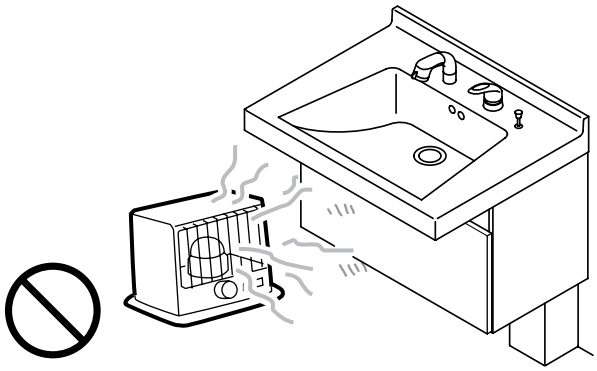
凍結破損で漏水するおそれがあります。水抜き操作方法は、
P21「凍結予防のしかた」を参照してください。

使用上の注意

カウンター・キャビネット

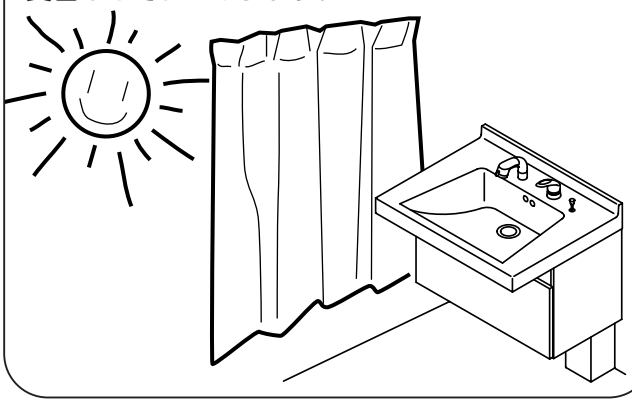
ストーブなどを近づけないでください

変色・変形するおそれがあります。



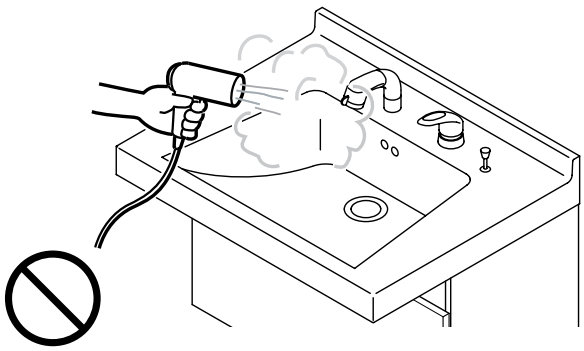
直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください

変色るおそれがあります。



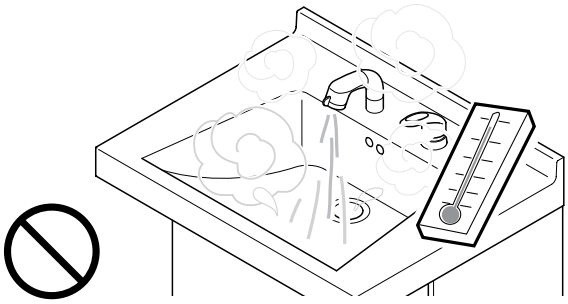
ヘアドライヤーの熱風を直接当てないでください

変色・変形するおそれがあります。



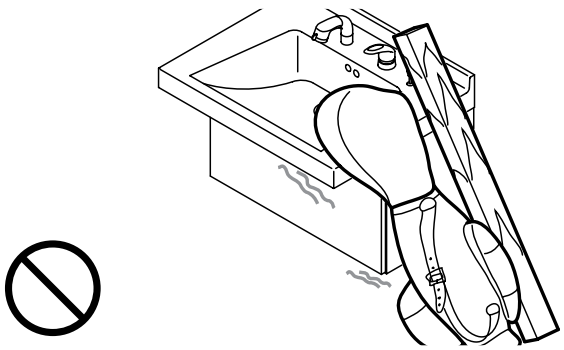
急に熱湯を注がないでください

洗面ボウルの破損の原因となります。
水を少しためてから注いでください。



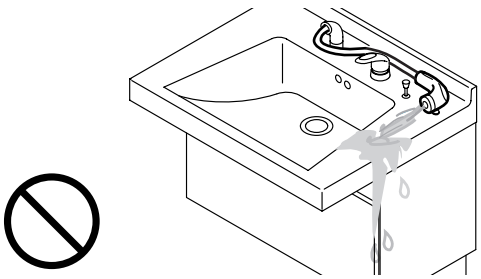
キャビネットに物をぶつけたり強い力で押さないでください

洗面ボウルやキャビネットの破損の原因となります。



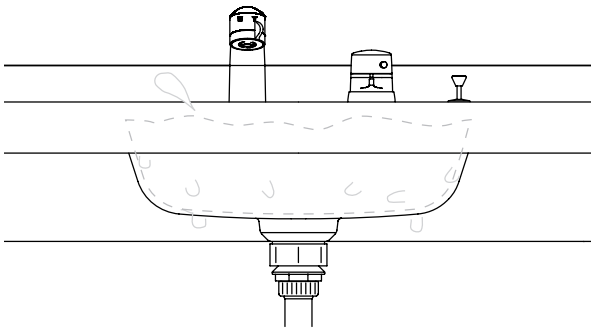
キャビネットに水をかけないでください

木質で出来ていますので表面材のはがれや木部変形の原因となります。
水がかかった場合は、すぐにふき取ってください。



洗面器に冷水をためると、環境条件や時間によって結露することがあります

ぬるま湯をお使いいただくと防止できます。

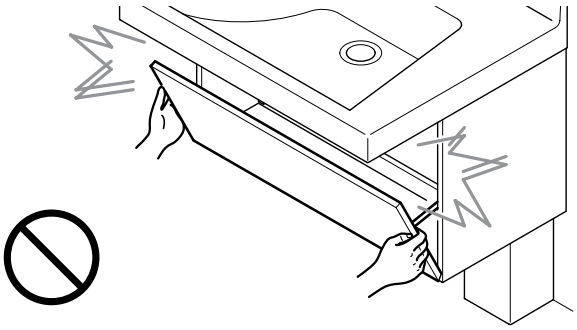


カウンターに薬液をこぼさないでください

付着した時は、すぐにふき取ってください。
放置したままですと表面が変色するおそれがあります。

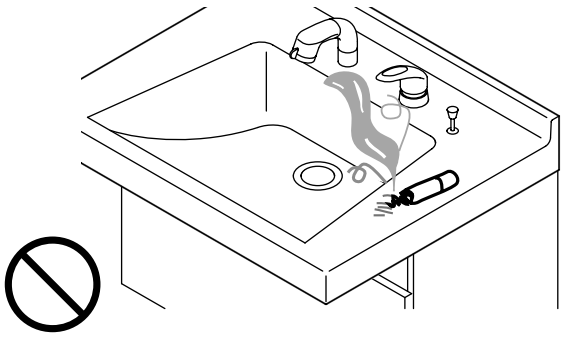
扉の開閉は扉上部を持って行ってください

扉の側部を持って行うと、ステーに指を挟むおそれがあります



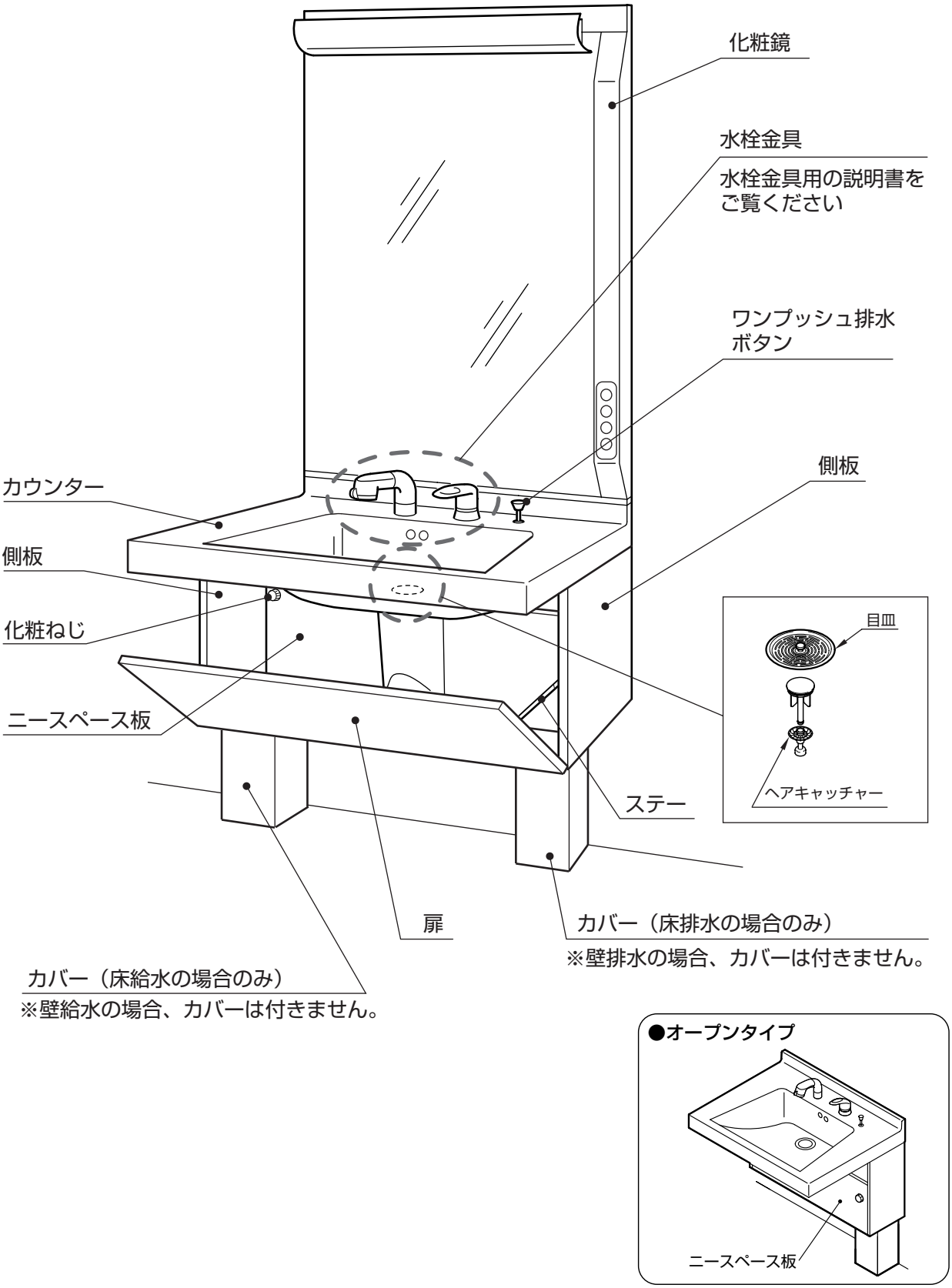
カウンターの上に火のついたタバコなどを置かないでください

変色のおそれがあります。

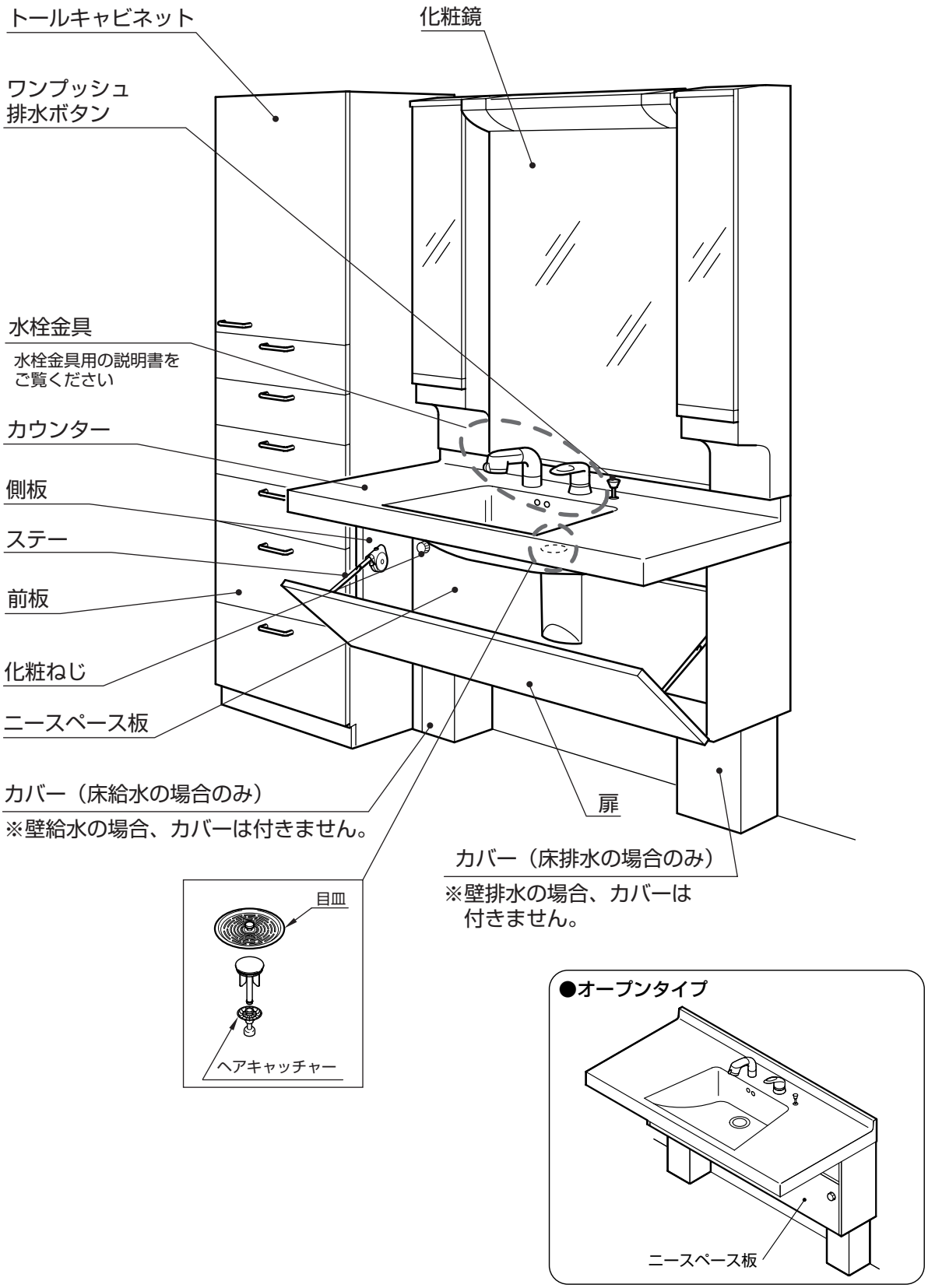


各部のなまえ

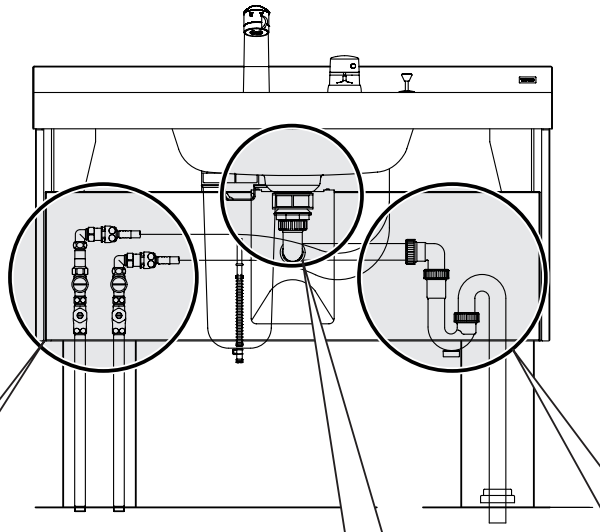
※図は扉タイプ、一面鏡の場合を示します。



※図は扉タイプ、収納付化粧鏡（三面鏡）、トールキャビネットの場合を示します。



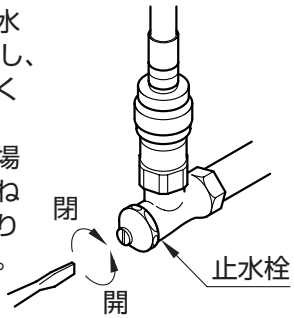
ご使用前に



①水の出は十分ですか？

【調整要領】

●キャビネット内にある止水栓を⊖ドライバーで調節し、使いやすい流量でご使用ください。
湯水の出を多くし過ぎた場合は、洗面器からの水はねや水あふれのおそれがありますのでご注意願います。



②水は漏れていませんか？

【確認】

●配管接続部より水漏れはありませんか。
水漏れがあった場合、修理を依頼する前に「こんなときは」（P.22）をご確認ください。

※ニースペース板の外しかたは
P16をご参照ください。

ホルムアルデヒドについて

TOTOでは、お客様が安心してお使いいただけるようホルムアルデヒド放散量の少ない材料を採用しています。
より快適にお使いいただけるよう下記の点についてご配慮をお願い致します。

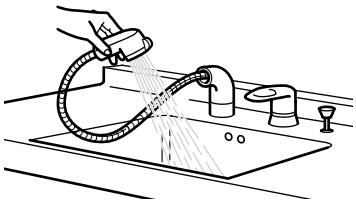
●新築、改築後間もない場合は十分換気を行ってください。ホルムアルデヒドは高温になれば放散される性質があります。室温を高くしての換気やキャビネット内側の水ふきが効果的です。

●普段でも通気や換気にご配慮ください。また、気温の高い夏や長時間密閉状態にしていた後などは、十分に換気を行ってください。

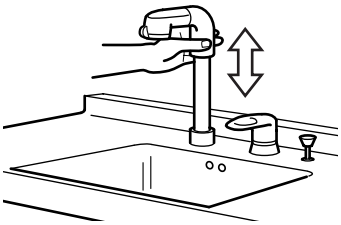
つかいかた

〈シャンプー水栓の機能〉

●シャワーヘッドを引き出して、ハンドシャワーとしてもご利用になれます。

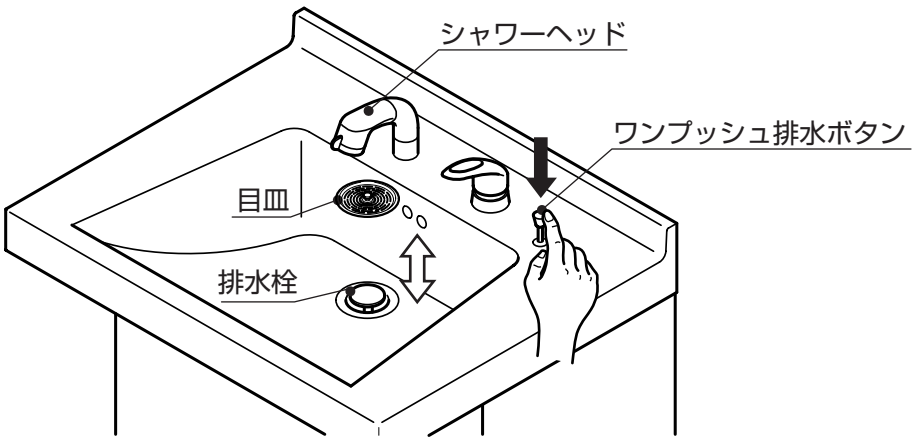


●シャワーヘッドを引き上げるだけでどの高さにも固定できるフリー昇降式。



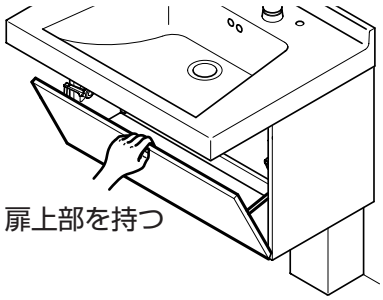
〈排水口の開閉のしかた〉

●ワンプッシュ排水ボタンを押すと排水栓が下がり、もう一度押すと上がります。



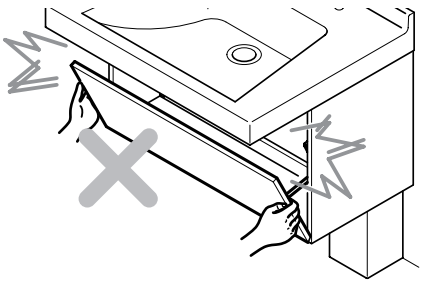
〈扉の開閉〉（扉タイプのみ）

●扉の開閉は、扉の上部を持って手前に引きます。



⚠注意

扉の両端を持たないでください。
ステーまたは側板に指を挟むおそれがあります。

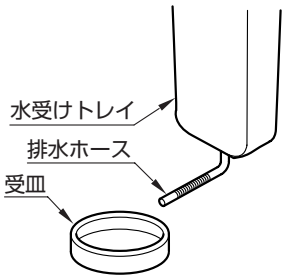


お手入れのしかた

※水栓金具に関するお手入れのしかたは、専用の説明書をご参照ください。

〈日頃のお手入れ〉

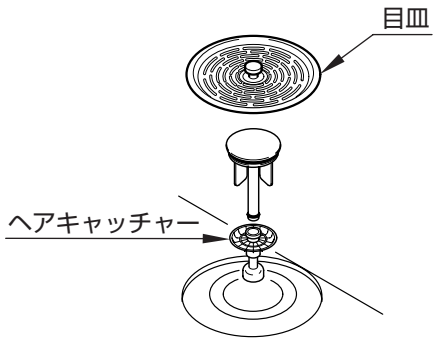
いつまでも美しさを保つために、日頃からこまめにお手入れをしてください。

洗面器 キャビネット 樹脂製排水管	●製品に付いた汚れ(プラスチック部分の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたく絞ってふき取ってください。 その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。 ●シンナー・ベンジンなどの溶剤やクレンザーおよびナイロンたわし、トイレ・バス・タイル用洗剤・塩素系洗剤は、表面を侵したり傷を付けたりしますので使用しないでください。
排水金具 ブラケット	●布を使用したお手入れ 軽い汚れの場合、水またはぬるま湯に浸した布を良く絞って汚れをふきとってください。 ひどい汚れの場合、適量にうすめた中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取った後、水ぶきしてください。 ●お願い：表面を傷つけるものは使用しないでください。 酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤 シンナー、ベンジンなどの溶剤 クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤 ナイロンたわし、たわし、ブラシなど ●日々のご使用により排水管の内面に汚れなどが付着し、流れが悪くなることがあります。時々、市販の排水管洗浄剤にてお手入れしてください。 ※洗浄剤のご使用方法については洗浄剤の使用説明書をご参照ください。
カウンター	●つや出しワックスを布に付けて磨くと一層光沢が得られます。
水受けトレイ	●水受けトレイの中に水がたまっていないか定期的に点検してください。 たまっていたら排水ホースを手前に倒して水受けトレイ内の水を排水してください。 注）水抜きする時は受皿を準備してください。 ●水抜き後は、排水ホースを元に戻してください。 

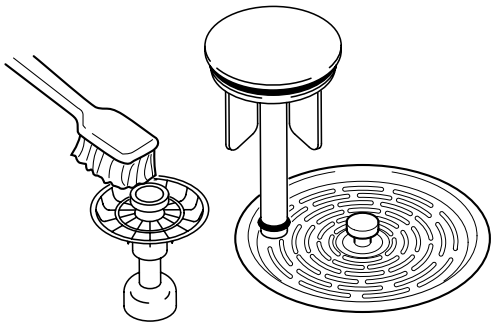
〈目皿とヘアキャッチャーの掃除〉

●目皿やヘアキャッチャーが詰まると水の流れが悪くなりますので、定期的に次の要領で掃除してください。

1.目皿・ヘアキャッチャーを取り出してください。

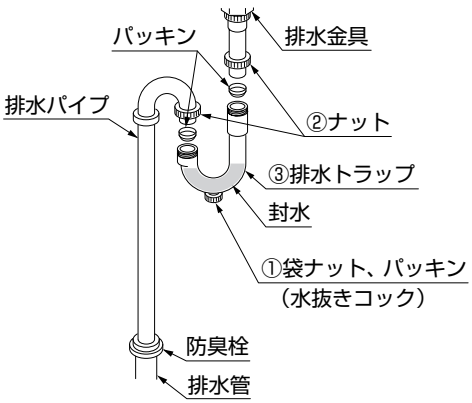


2.目皿・ヘアキャッチャーに詰まったごみをブラシなどで取り除いてください。



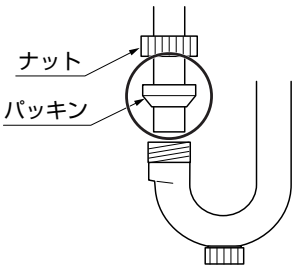
〈排水トラップの掃除〉

●排水トラップに異物が詰まると水の流れが悪くなりますので、定期的に掃除をしてください。



〈床排水の場合〉

※排水トラップの接続の際は、
パッキンの方向に注意してください。



■ **掃除をする前に**

- 水がこぼれた場合のために受皿やぞうきんをご準備ください。
- 排水トラップには水（封水）がたまっていますので、トラップを外した時に水がこぼれないようにご注意ください。

①水抜きを行ってください。

水受けの容器を置き排水トラップの水抜きコックを開けてください。

②ナット（2箇所）をゆるめて排水トラップを外してください。

③排水トラップに異物やごみが付着していないか確認しブラシなどを使い洗い流して掃除を行ってください。

（⚠注意：トラップを外すと洗面化粧台は使用できませんのでご注意ください。）

④掃除が終ったあと、ナット、パッキン、排水トラップを取り付け、ナットを手で確実に締めてください。（工具は使わないでください。）

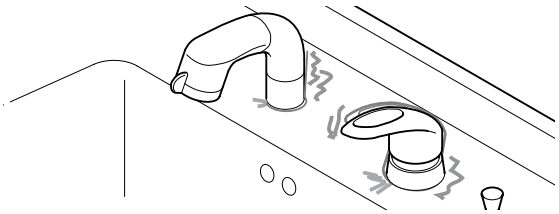
⑤最後に水を流し漏水していないかを確認してください。

定期的な点検のおすすめ

安全・快適にご使用いただくために、定期的に以下の点検を行ってください。

〈水栓のがたつき〉

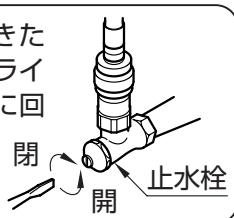
水栓金具のがたつきがある場合、そのまま使用されますと、故障の原因となりますのでお取扱店または、東陶メンテナンス㈱へ修理をご依頼ください。

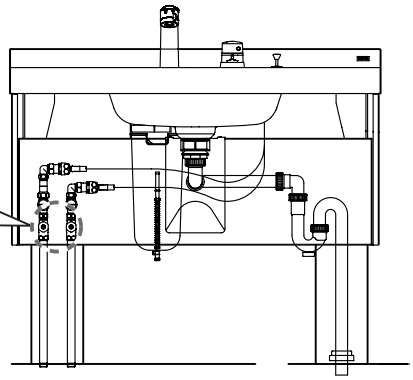


〈配管まわりの水漏れ〉

配管まわり（キャビネット内・点検口内など）の水漏れがないか確認してください。水漏れして家財などをぬらすおそれがあります。水漏れしている時は、止水栓または元栓を閉め、P22の「こんなときは」の項目をご確認のうえ点検をお願いします。

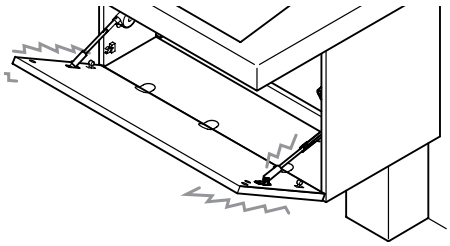
●水栓などで漏水が起きた場合は止水栓を ⊖ ドライバーなどで“閉”方向に回して止めてください。





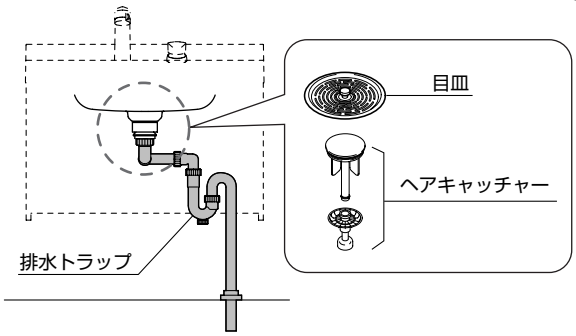
〈扉などのがたつき〉

扉にがたつきがないか確認してください。部材の破損や脱落のおそれがあります。扉の調整ができますので、P15にしたがって丁番の調整をしてください。（P15参照）



〈排水の詰まり〉

ヘアキャッチャーや排水トラップに異物が詰まると水の流れが悪くなりますので、定期的に点検を行ってください。P13にしたがって掃除をしてください。

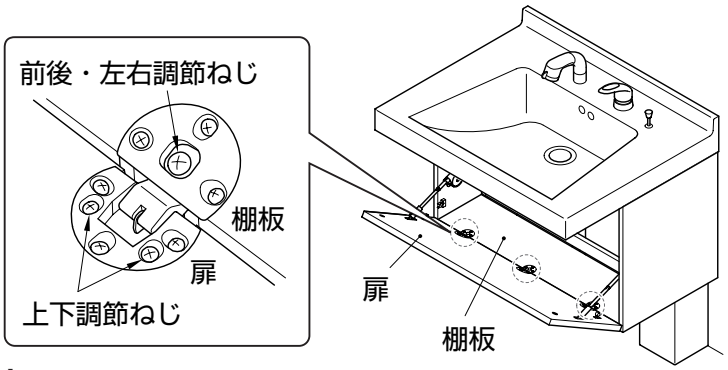


※水栓金具に付いている逆止弁は定期的に交換が必要です。詳細は水栓金具の取扱説明書をご参照ください。
（逆止弁：製品から一度吐水した水などが逆流することを防ぐ部品）

〈扉の調整方法〉

扉が長年の使用でずれた時は、以下の手順にしたがって調整し直してください。

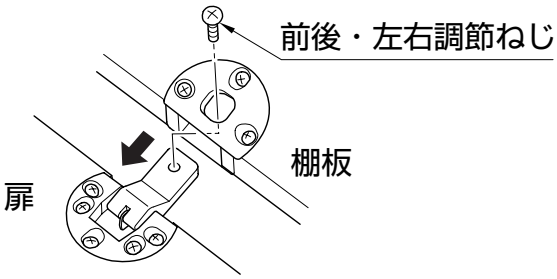
■各部の名称



■扉の着脱方法

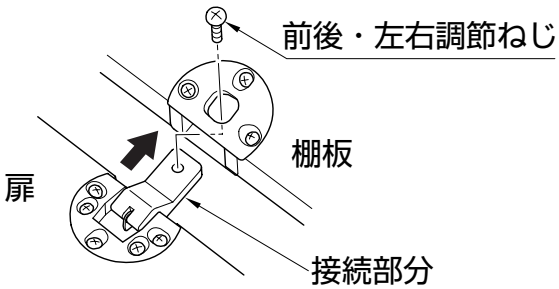
外し方

前後・左右調節ねじを外し、扉を手前に引っ張ってください。



取り付け方

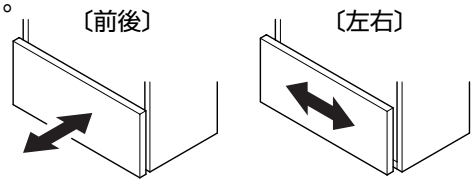
扉側丁番の接続部分を棚板側の丁番へ差し込み、前後・左右調節ねじで締めて固定します。



■扉の調整方法

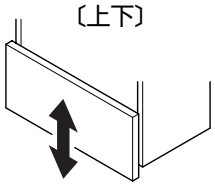
前後・左右調整

すべての丁番の前後・左右調節ねじをゆるめ、扉を前後・左右に動かし適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



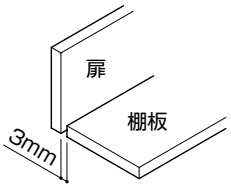
上下調整

すべての丁番の上下調節ねじをゆるめ、扉を上下に動かし適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



注意 扉調節時の注意

扉と棚板のすき間が狭いと扉が開きにくくなる場合があるため、必ずすき間をあけるようにしてください。



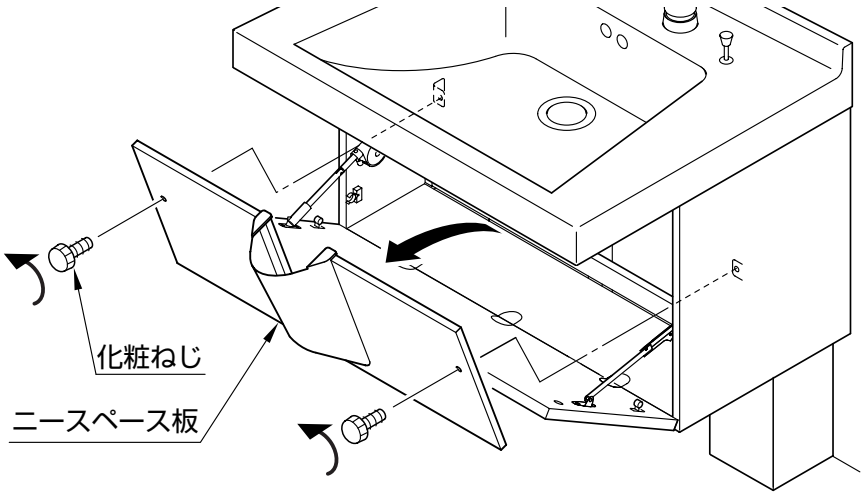
⚠注意

調整後ねじはしっかり締め付けて、ゆるみのないことを確認してください。
締め付けていない場合は、扉が外れるおそれがあります。

〈ニースペース板の着脱方法〉

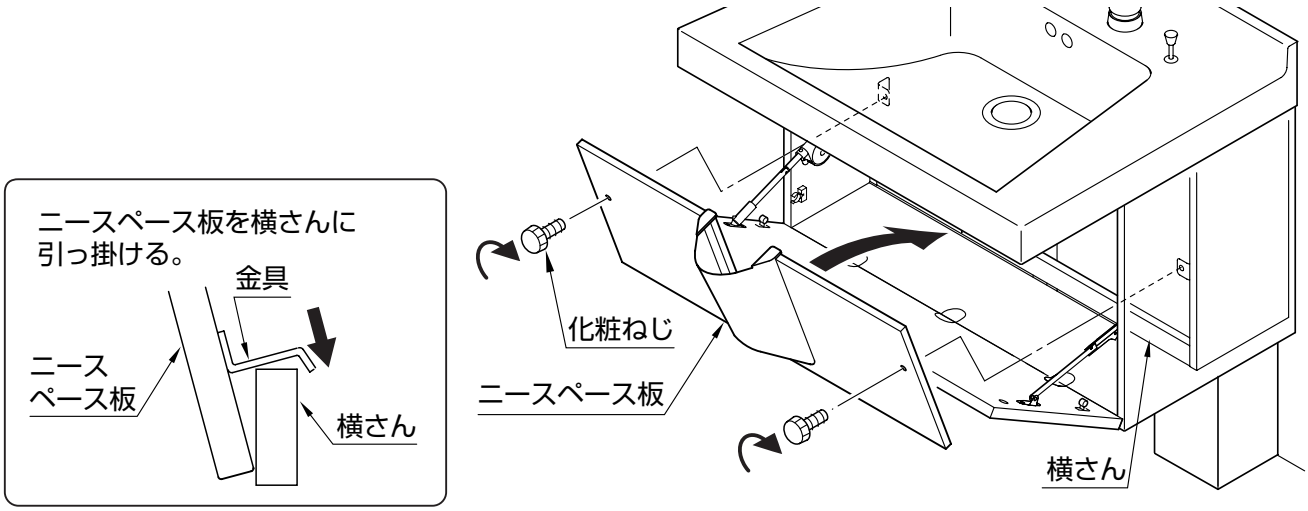
【取り外し方法】

①化粧ねじを図の方向に回し外します。
②ニースペース板を前方へ倒しながら外します。



【取り付け方法】

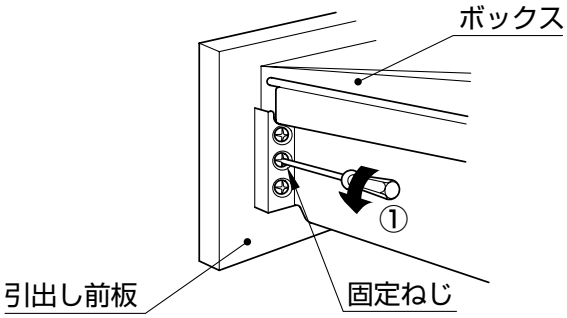
①ニースペース板の下の金具を横さんに引っ掛けます。
②化粧ねじを矢印の方向に回して取り付けます。



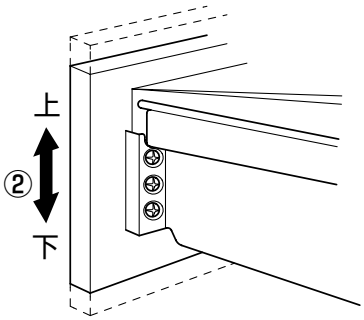
〈引出し前板の調整方法〉トールキャビネット

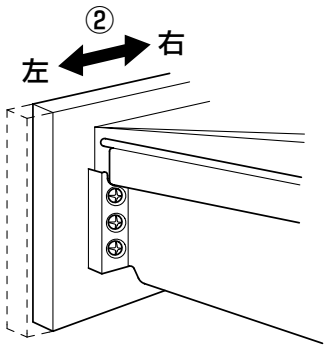
■引出しの上下左右調整

①引出し側面にある固定ねじを、前板が動く程度にゆるめてください。（左右各1ヶ所）

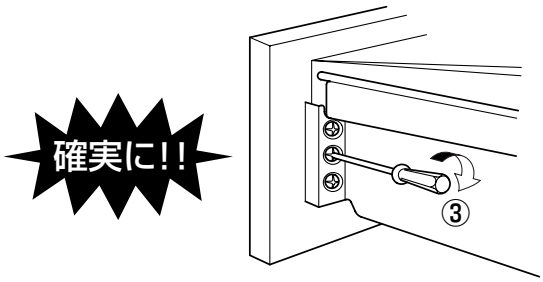


②引出し前板を、上下左右に調整してください。





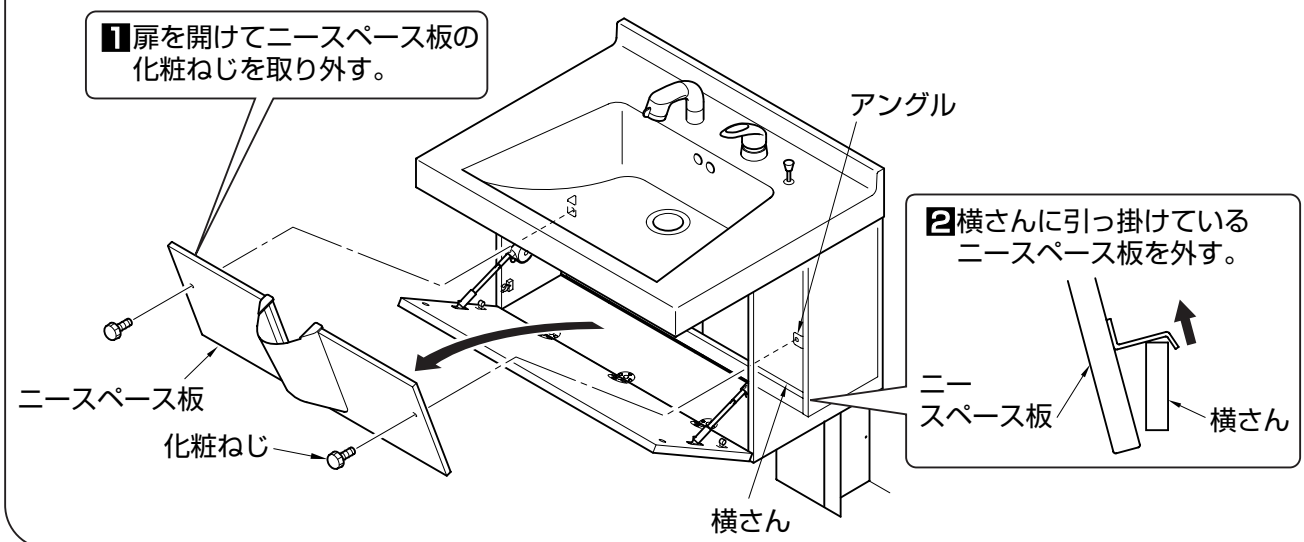
③前板の調整が終ったあと、固定ねじを確実に締めてください。



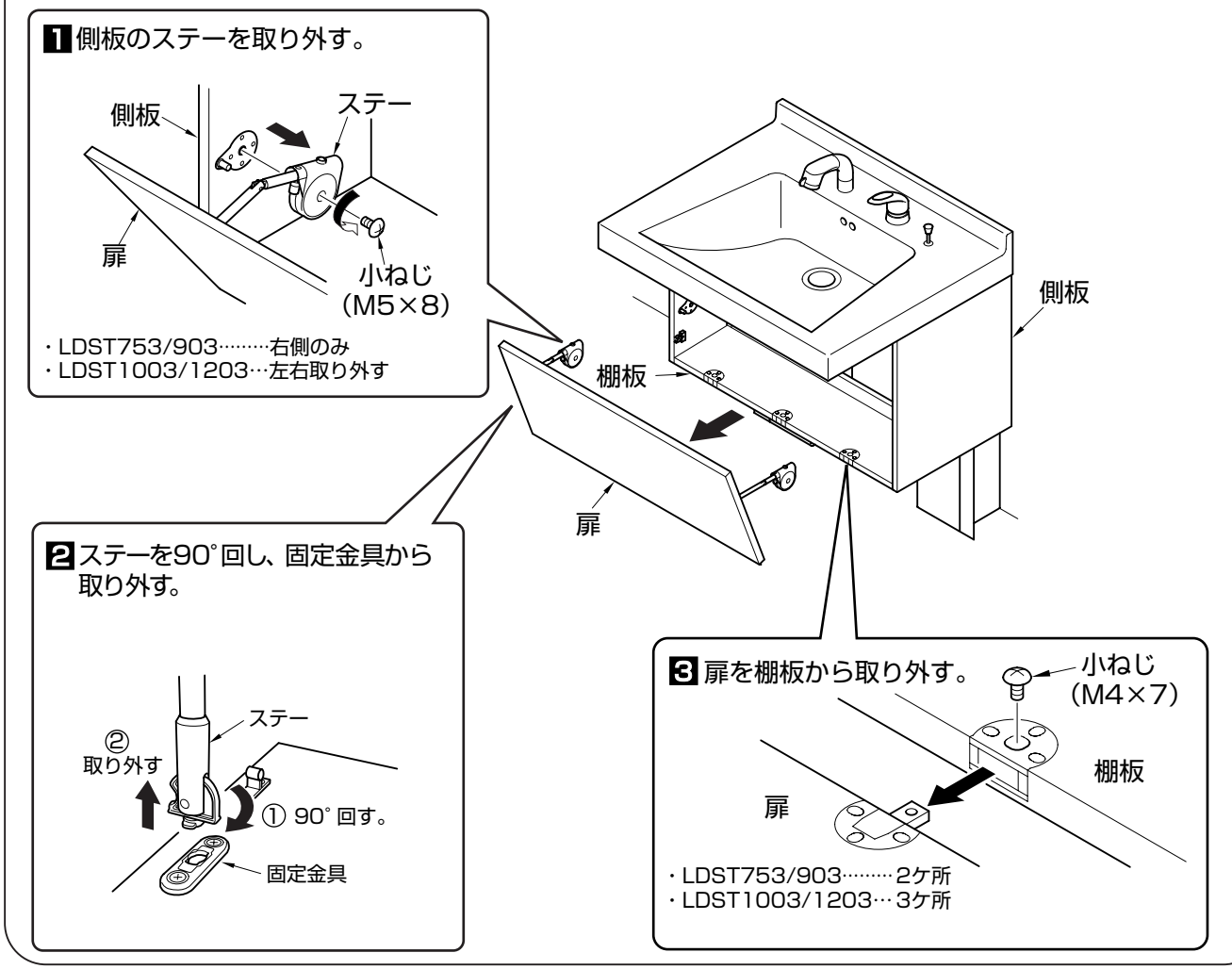
収納部の取り外しかた

●扉タイプの場合、収納部（扉・棚板・側板）を外してオープンタイプとしてご利用になれます。
●オープンタイプでおさまりをよくするために、別売品の化粧パネルユニット（LFT15）をおすすめします。

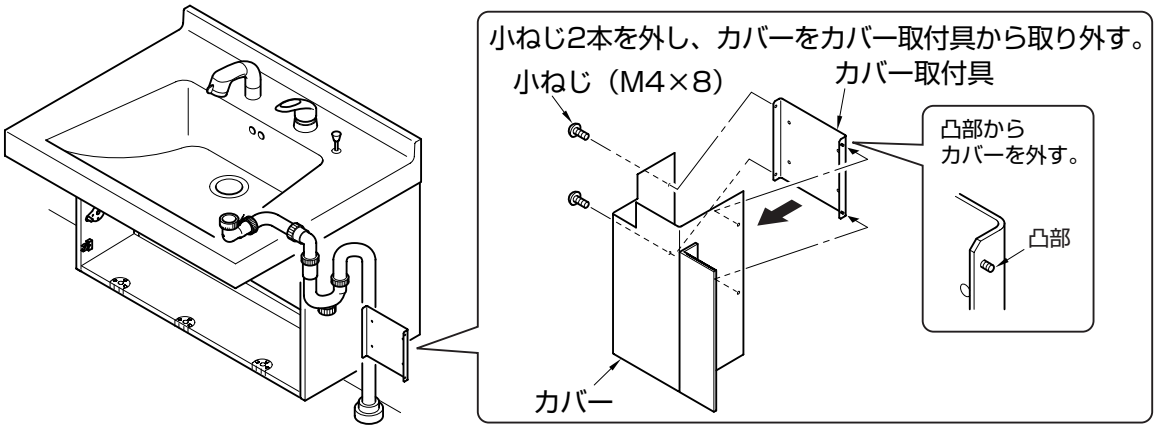
（1）ニースペース板の取り外し



（2）扉の取り外し

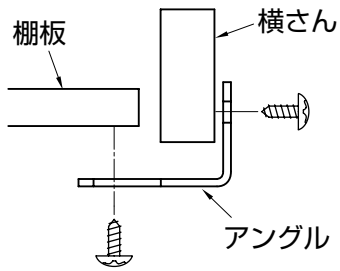


（3）カバーの取り外し　※床給水・床排水の場合

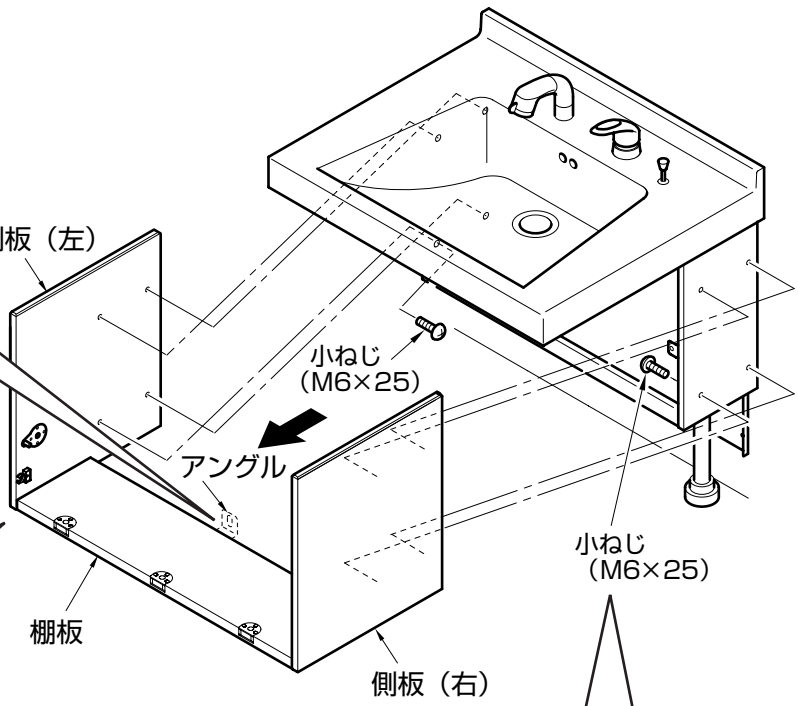


（4）側板・棚板の取り外し

1 棚板裏と横さんを固定しているアングルを取り外す。

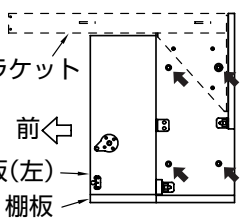


・LDST753/903……1ヵ所
・LDST1003/1203…2ヵ所



3 側板（左・右）・棚板を取り外す。

2 キャビネット内側から固定しているねじ（4本）を側板（左・右）とも取り外す。

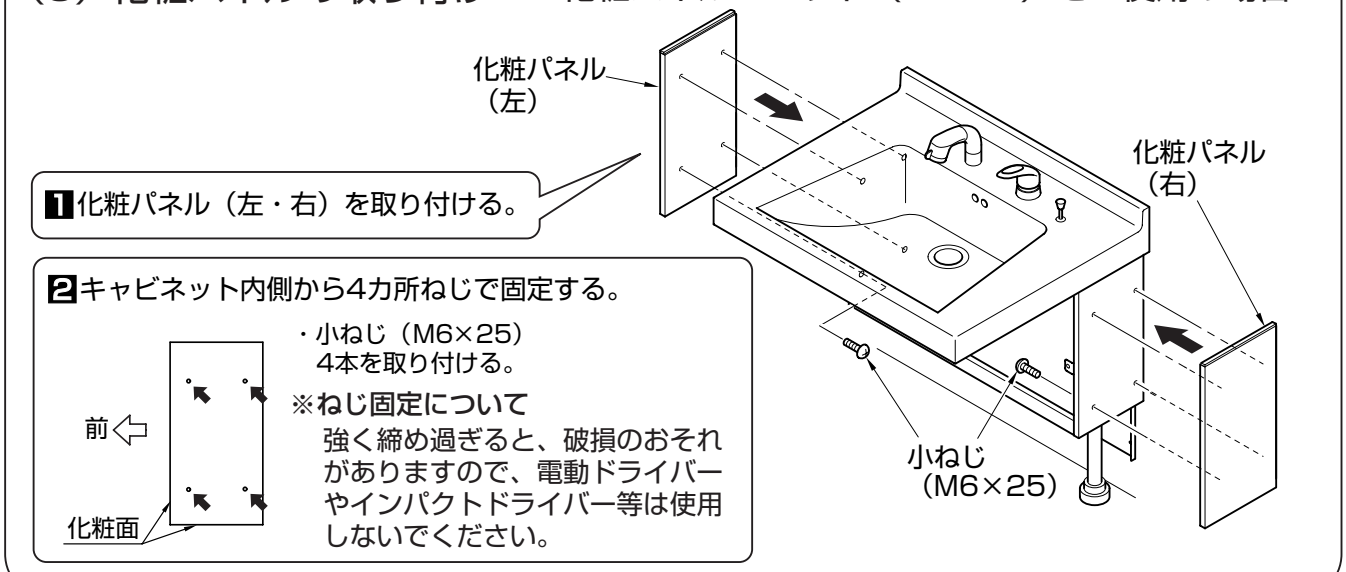


（注）他のねじはゆるめないでください。

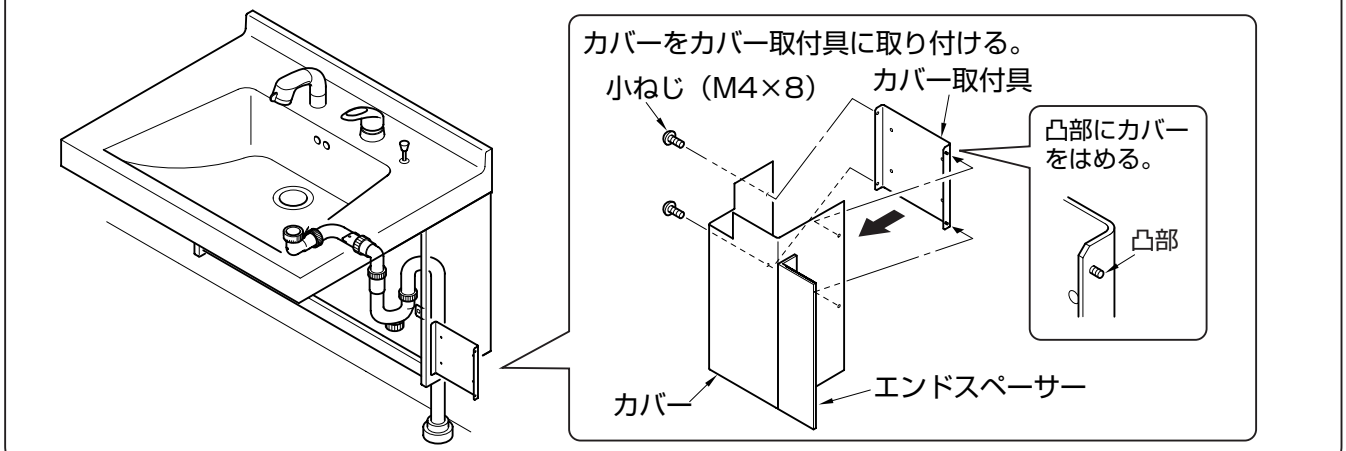
・小ねじ（M6×25）
4本を取り外す。

※ねじを外す際側板・棚板が落下するおそれがありますので、ご注意ください。

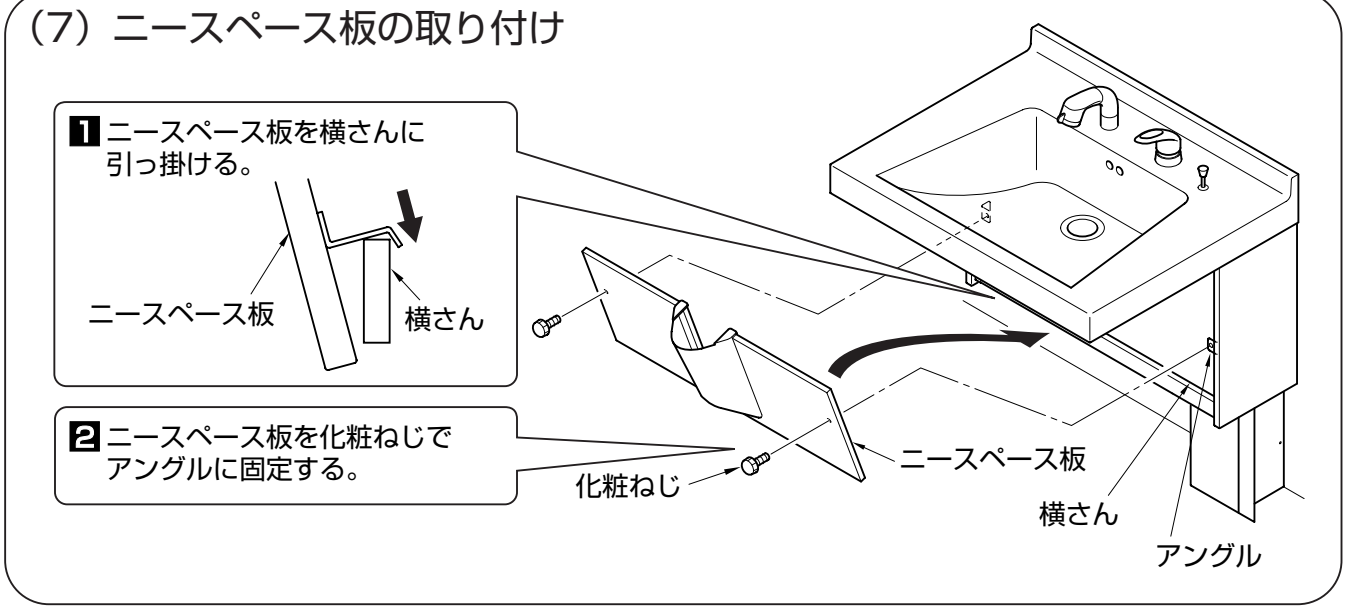
（5）化粧パネルの取り付け　※化粧パネルユニット（LFT15）をご使用の場合



（6）カバーの取り付け　※床給水・床排水の場合



（7）ニースペース板の取り付け



凍結予防のしかた

〈寒冷地仕様の場合〉

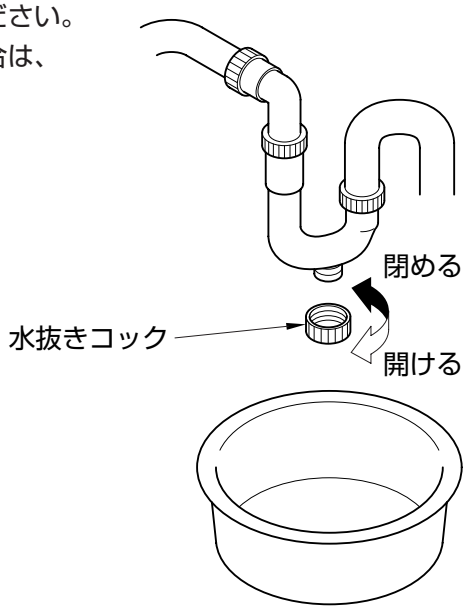
凍結のおそれがある場合は、別途凍結防止工事を行い次の処置をしてください。
（凍結防止工事については、お求めの販売店または工事店にご相談ください。）

【水栓金具の水抜き】

●水栓金具の水抜きについては、水栓金具の取扱説明書をご参照ください。

【排水トラップの水抜き】

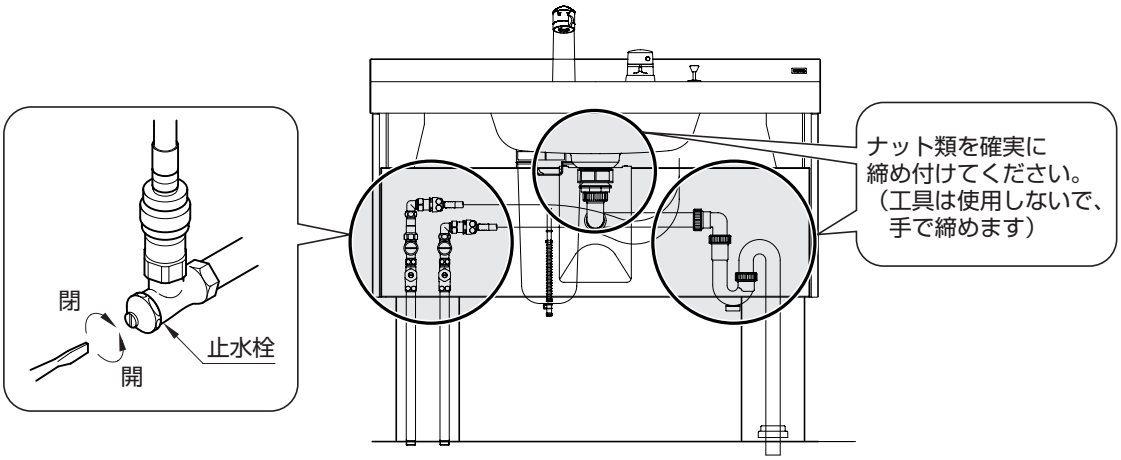
①水受けの容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開けてください。
②水抜き後は、必ず水抜きコックを確実に閉めてください。
　※寒冷地仕様でなくても、凍結のおそれがある場合は、
　　排水トラップの水抜きを行ってください。



こんなときは

〈キャビネット内に水が漏れている場合〉

●止水栓を⊖ドライバーで閉めていただき、修理を依頼される前に、以下の「故障かな？と思ったら」の内容をご確認ください。



〈修理を依頼される前に〉

●水栓金具に関することは、水栓金具の取扱説明書をご参照ください。
●暖房機に関することは、暖房機の取扱説明書をご参照ください。
●洗面化粧台に関することは、以下の「故障かな？と思ったら」をお調べいただき、それでも直らない時は、お求めの取付工事店または東陶メンテナンス㈱にご依頼ください。

なお、ご不明な点については説明書裏面のフリーダイヤルで、商品についてのお問い合わせは「お客様相談室」、補修部品の購入については「TOTOパーツセンター」へお問い合わせください。

〈故障かな？と思ったら〉

〈修理を依頼される前に〉			
現　　象	お調べいただくところ	処置のしかた	参照ページ
・水が出ない ・湯が出ない	止水栓が完全に開いていますか。	止水栓を開けてください。	P10
	断水してませんか。	断水していないことを確認してください。	−
・水が漏れている	給水・給湯管からの漏水ですか。	止水栓を必ず閉めて漏水箇所を締め直してください。締め直しても水が漏れる場合は、東陶メンテナンス㈱に修理を依頼してください。	P10
	排水管・トラップ部分からの漏水ですか。	パッキン、防臭栓（点検口の下にあります）がずれていないか確認してください。ナットがゆるんでいるかもしれません。その場合ナットを締め付けてください。	P13
・排水の流れがよくない	目皿またはヘアキャッチャーにごみが付着していませんか。	目皿またはヘアキャッチャーの掃除をしてください。	P13
	トラップ部分に異物がたまっていませんか。	トラップ部分のナットをゆるめて外して確認したあと、掃除をしてください。	P13
・扉にがたつきがある	固定ねじがゆるんでいませんか。	固定ねじを締め付けてください。	P15

アフターサービス

【修理を依頼する前に「こんなときは」（P.22）をご確認ください】

保証書（この説明書のP27が保証書になっています）

●この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。お取付日・お取付店名・お取扱店印が記入してあることをご確認ください。
また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間は保証書をご確認ください。

補修用部品の供給期間

●この製品の補修用部品（機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の大きい物）の供給期間は製造中止後10年です。
（専用の取扱説明書のある製品は、製品に添付の取扱説明書をご確認ください。）

保証について

●保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。
例えば、「取扱説明書、施工説明書、張付ラベルなどの注意書きにしたがっていない場合の不具合など」は有料になります。

●保証期間を過ぎている場合は、修理すれば使用できる商品についてはご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ〈東陶メンテナンス㈱にご依頼の場合〉

●修理料金は 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料 で構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了後の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

部品の交換について

●無料修理により交換された部品・製品は、東陶機器㈱の所有になります。

仕　様

〈洗面化粧台〉

品番	LDST753・754／903・904／1003・1004／1203・1204
カウンター	カウンター一体型洗面ボウル（容量12L）
水栓金具	・シングルレバーシャンプー水栓 ・サーモスタットシャンプー水栓
排水金具	ワンプッシュ式排水金具（ヘアキャッチャー付）
目皿	ステンレス
排水トラップ	水抜き付ハード管床排水トラップ
扉	ペールホワイト……コート紙+中質繊維板（MDF） マイルドチェリーN……コート紙+中質繊維板（MDF）
キャビネット	木製
製品寸法	（幅）（奥行）（高さ） LDST753・754　750×600×500 LDST903・904　900×600×500 LDST1003・1004　1000×600×500 LDST1203・1204　1200×600×500
製品重量	LDST753　34kg　LDST754　31kg LDST903　40kg　LDST904　35kg LDST1003　44kg　LDST1004　37kg LDST1203　52kg　LDST1204　42kg

MEMO

MEMO

TOTO®

保　証　書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お取付日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご掲示のうえ、お取付店に修理をご依頼ください。
なお、水栓金具については、専用の保証書がありますので別途掲示ください。

お客様	おなまえ　　様	品　番	LDST753・754 LDST903・904 LDST1003・1004 LDST1203・1204 （水栓金具は除く）
お取付店名	おところ㊦ ㊦　Tel　㊞		
お取付日	年　月　日	保証期間	お取付日から2カ年

★お客様へ
この保証書をお受け取りになる時に、お取付年月日、お取付店名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体張付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な状態で故障した場合には、表記の期間無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お取付店にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご掲示ください。
3. ご転居の場合は事前にお取付店にご相談ください。
4. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお取付店に修理がご依頼できない場合には、お客様相談室にご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   - ㋑ 使用上の不注意、過失による不具合および不当な修理や改造による故障および損傷。
   - ㋺ お取付後の移設などに起因する故障および損傷。
   - ㋩ 火災・地震・水害・落雷・凍結・その他の天災地変、公害やガス害（硫化水素ガス）、塩害異常電圧による故障および損傷。
   - ㋥ 指定以外の電源（電圧・周波数）の使用による故障および損傷。
   - ㋭ 一般家庭用以外（例えば車輌・船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   - ㋬ 砂やごみかみによる不具合。
   - ㋣ 消耗部品（ステー・丁番・キャッチ・クッションなど）の損耗による不具合。
   - ㋠ 日常のお手入れ箇所（水抜栓やフィルターなど）のOリングやパッキンの磨耗・劣化による不具合。
   - ㋡ 施工上の不注意、過失による場合。
   - ㋢ 本書の掲示がない場合。
   - ㋧ 本書にお客様名、お取付店名、お取付日の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
6. 部品の交換について
   無料修理により交換された部品・製品は、東陶機器（株）の所有となります。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
8. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

サービス記録

年　月　日	サ　ー　ビ　ス　内　容	担　当　者

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、TOTO「お客様相談室」または「東陶メンテナンス（株）」へお問い合わせください。

東陶機器株式会社

TOTO

東陶機器株式会社

【修理を依頼する前に「こんなときは」（P.22）をご確認ください】

修理・取扱いのご相談は
まずお求めの取付店・販売店へ

取扱店	〒 印 電話　　－

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

お客様専用窓口

商品の
お問い合わせは

TOTOお客様相談室へ
0120-03-1010
受付時間：平日　9:00-18:00
土･日･祝日　10:00-18:00
（夏期休暇･年末年始を除く）

補修用部品の
ご購入は

お近くのDIYホームセンター、お求め取付工事店
またはTOTOパーツセンターへ
0120-8282-55
受付時間：平日　9:00-18:00
土･日･祝日　10:00-18:00
（夏期休暇･年末年始を除く）

修理の
ご依頼は

東陶メンテナンス（株）へ
0120-1010-05
受付（年中無休）
受付時間：関東･甲信越地区　8:00-20:00
上記以外の地区　9:00-20:00
訪問修理（年中無休）
営業時間：　9:00-18:00

インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/